

テーマ	簿記の基礎（Ⅱ）：正しい金額（1,167,500 円）での別バージョン
-----	-------------------------------------

1. 【第 1 回資料】9. 会社の設立・開業の続き

- (7) 手元には現金 1,167,500 円と備品 500,000 円、商品 200,000 円（@1,000 円×200 個）がある。
- (8) 今月も継続して商品の仕入・販売を行うことにした。商品 1,500,000 円（@1,000 円×1,500 個）を仕入れたが、手元の現金では不足するので来月支払うことにした。先月同様に@2,000 円で販売することにした。
- (9) 1 ヶ月が過ぎ、努力の末@2,000 円で先月の 1.5 倍の 1,200 個を販売することができた。なお、700 個は現金による販売で、500 個は来月支払ってもらうことにした。
- (10) この時点での今月の儲け（利益）は（ ⑦ ）円だった。
- (11) 今月も銀行へ 5,000 円の利息を現金で支払い、1 ヶ月のバイト代として 60,000 円を現金で支払った。利息や給料を考慮した儲け（利益）は（ ⑧ ）円だった。
- (12) 利益の半分を出資してくれた 10 人に（ ⑨ ）円ずつ均等配分した。

問 1. （ ⑦ ）～（ ⑨ ）の金額はいくらですか。

問 2. （11）時点の財政状態（何がいくらあるか）と経営成績（いくら儲けたのか）を示す表を作成してください。

テーマ	簿記の基礎（Ⅱ）：正しい金額（1,167,500 円）での別バージョン
-----	-------------------------------------

2. 第 2 回の資料にある（ ⑦ ）～（ ⑨ ）の数字を記入するとともに、問 2 の表を完成しなさい。

問 1

⑦		⑧		⑨	
---	--	---	--	---	--

問 2

（11）時点の貸借対照表と損益計算書を作成してください。

貸借対照表		損益計算書	
現金	買掛金	売上原価	売上
売掛金	借入金	給料	
商品	資本金	支払利息	
備品	+ α （利益）	+ α （利益）	

- ✓ 貸借対照表：会社に何がいくらあるのか（財政状態）を示す表
- ✓ 損益計算書：会社に何が起きて、いくら儲かったのか（経営成績）を示す表
- ✓ 売掛金：商品を販売した際に、代金を後払いにした場合の売上代金を受取る権利
- ✓ 買掛金：商品を仕入れた際に、代金を後払いにした場合の仕入代金を支払う義務
- ✓ 借入金：現金を借入れた際に生じる返済義務
- ✓ 資本金：会社の元手にそれまでに儲かった利益を加えたもの
- ✓ 売上原価：売上に対応する原価
- ✓ 支払利息：支払った利息 ※受取利息：受取った利息
- ✓ 利益：今回の会計期間に儲かった金額